

平成22年 3 月 31 日現在

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2007～2010

課題番号：19592262

研究課題名 (和文) 軟性裏装材使用総義歯装着患者の長期予後に関する研究

研究課題名 (英文) Does long-term wearing of complete dentures relined with acrylic-based resilient liner affect on edentulous patients?

研究代表者

木本 統 (KIMOTO SUGURU)

日本大学・松戸歯学部・講師

研究者番号：10267106

研究代表者の専門分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：補綴理工系歯学

キーワード：総義歯, 軟質リライン材, 長期予後

## 1. 研究計画の概要

軟性裏装材の長期予後に関するエビデンスが少ないことから、我々が実施した無作為割付臨床試験の被験者をフォローし、アクリル系軟性裏装材の長期予後を生存率で判定する。

## 2. 研究の進捗状況

54名の被験者をアクリル系軟性裏装材使用総義歯使用装着群 (軟性群) 27名, 通法義歯装着群 27名に無作為割付けを行い, 治療終了後追跡調査を行っている。装着1年後の装着状況は軟性群 27名において, 義歯使用継続中の患者が 23名, 義歯を使用していない患者が 4名であった。一方, 通法群 27名においては, 義歯使用継続中の患者が 19名, 義歯を使用していない患者が 8名であった。カイ二乗検定の結果, 両群間において義歯使用の割合の差は認められなかった。装着2年後の装着状況は軟性群 27名において, 義歯使用継続中の患者が 17名, 義歯を使用していない患者が 10名であった。一方, 通法群 27名においては, 義歯使用継続中の患者が 13名, 義歯を使用していない患者が 14名であった。カイ二乗検定の結果, 両群間において義歯使用の割合の差は認められなかった。装着3年後の装着状況は軟性群 27名において, 義歯使用継続中の患者が 5名, 義歯を使用していない患者が 21名であった。一方, 通法群 27名においては, 義歯使用継続中の患者が 10名, 義歯を使用していない患者が 17名であった。カイ二乗検定の結果, 両群間において義歯使用の割合の差は認め

られなかった。装着4年後の装着状況は軟性群 27名において, 義歯使用継続中の患者が 5名, 義歯を使用していない患者が 21名であった。一方, 通法群 27名においては, 義歯使用継続中の患者が 10名, 義歯を使用していない患者が 17名であった。カイ二乗検定の結果, 両群間において義歯使用の割合の差は認められなかった。装着3年から4年にかけて未装着者数は増加しなかった。

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

本年度が義歯装着後4年目に当たり, 義歯の5年使用率を求める目的で立案した研究であることから, 本年度で80%を達成したことになる。

## 4. 今後の研究の推進方策

来年度が最終年となることから, 軟性リライン材使用義歯と通法義歯の5年使用率をもとめ, 両者の長期使用状況を分析し, 論文としての報告を予定している。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

- ① Kimoto Suguru, Yamamoto Shiro, Shinomiya, Mayako, Kawai Yasuhiko. Randomized controlled trial to investigate how acrylic-based resilient liner affects on masticatory ability of complete denture wearers. Journal Oral Rehabilitation. 2010, DOI: 10.1111/j.1365-2842.2010.02070.x. 査読有
- ② Kimoto Suguru, Kimoto Katsuhiko, Gunji Atsuko, Shinomiya Mayako, Sawada Tomofumi, Saita Makiko, Kobayashi Kihei. Randomized controlled trial investigating the effect of an acrylic-base resilient Liner on perceived chewing ability in edentulous patients wearing mandibular complete dentures. 2010, 23, 110-116, 査読有

[学会発表] (計1件)

- ① 篠宮摩弥子, 木本統, 郡司敦子, 小林喜平. アクリル系軟性裏装材が総義歯患者の咀嚼に及ぼす臨床効果—無作為割付臨床試験による検討—, 第118回日本歯科補綴歯科学術大会, 2009年年6月5日, 国立京都国際会館(京都)

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
出願年月日:  
国内外の別:

○取得状況 (計0件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
取得年月日:  
国内外の別:

[その他]

ホームページ

<http://kenkyu-web.cin.nihon-u.ac.jp/Profiles/55/0005431/theses.html>